

# かほく ワークシート

ヤングアダルト



何度でも行きたい 世界のトイレ

ロンリー・ブラネット 編

世界に存在するすごいトイレの数々を撮影した写真集だ。

幅100センチ以上、高さ5センチにもなる便器が連なったトイレの滝（中国）、光り輝く卵型（イギリス）、絶景を見ることが出来るもの（世界各国）、北極圏にある野外型（カナダ）、トイレのテーマパークにあるもの（韓国）、果ては宇宙で使用するトイレまで掲載されている。

もちろん日本の温水洗浄便座も過剰に最先端なトイレとして掲載されている。

「工夫する」ポイントが

国ごとに違うへんてこなトイレの数々に、世界の広さと文化の違いを思い知る。最も個人的な場所だけに、国民性が現れやすいのかもしれない。104カ所のトイレ全てに経度と緯度が記されているので、いざという時にも使える？

テレビ番組「クレイジージャーニー」（TBS系）でおなじみの「奇界遺産」などの著書がある写真家佐藤健寿さん推薦。トイレのお供にすればちよつとした旅行気分を味わえる。（中島由華訳、河出書房新社・1512円）

(2016年10月9日河北新報朝刊)

①「何度でも行きたい 世界のトイレ」という本があります。これは、どのような本ですか。24字以内で説明しましょう。

②この本で紹介されている世界のトイレのいくつかを、〈例〉のようにまとめてみましょう。

〈例〉中 国・・・幅100センチ以上、高さ5センチにもなる便器が連なったトイレの滝  
イギリス・・・  
カナダ・・・  
韓 国・・・

③この本で紹介されているトイレの数は、全部でいくつですか。( )

④あなたは、世界の中で、どこの国のトイレに興味・関心がありますか。ぜひ、この本を手にして、気になる国のトイレ事情を調べてみましょう。

年 組 名前

(小学校高学年／総合的な学習、国際理解教育)